

# 肉用牛肥育農場での農福連携の取組

◆畜産・施設園芸が盛んな宮崎県内では、畜産業とマッチングした農福連携の事例が少なく、少しでも畜産業の農福連携に繋がればとの思いで作成

## ◆連携の経緯

令和4年6月に、労働力不足が課題の「(株)谷藤ファーム 谷藤代表取締役」が「(株)SMK 専務取締役」と知り合い、障がい者への就労機会の提供と自立に向けた支援を行う両者がマッチング

## ◆体制

- (株)谷藤ファーム宮崎農場
- ・従業員：4名

○乾燥粗飼料をコンテナ（約5ヶ）に詰め込む作業や畜舎の清掃で、障がい者も取り組みやすい

○月・水・金の週3回、午前1時間・午後1時間の合計2時間実施（送迎付き）

- (株)SMK
- 就労継続支援B型事業所わんぴーす
- ・支援者：1名
- ・利用者：4～5名（精神、知的障がい者）

※就労継続支援B型事業所とは、雇用契約に基づく就労が困難である方に対して、就労の機会や生産活動等の機会の提供、また、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行う事業所



## ◆取組の成果

〔(株)谷藤ファーム宮崎農場〕

- ・人手不足の中、障がい者は貴重な労働力として再認識
- ・現在は、畜産経営の維持には欠かせない存在
- ・週3回の契約となっているが、毎日の利用を希望

〔(株)SMK（わんぴーす）〕

- ・イチゴ農家やお茶農家は、期間雇用のため、周年雇用は計画的な事業運営が可能でありがたい
- ・利用者も前向きに楽しくやりがいを持っているので良かった